

施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	福祉部次長 岡田 高行		
施策番号	56	施策名	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち			総合計画掲載頁	56
関係課名	保険年金課、健康推進課、長寿介護課、福祉課、管理課(市民病院)						

1. 施策の概要

施策の目的	対 象	・市民 ・国民健康保険被 保険者	対象指標名		単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
				特定健康診査対象者(国保)の数	人	6,641	6,757	7,411	6,706	9,895
				がん検診対象者の数	人	40,977	43,500	40,977	43,500	43,500
				国保被保険者の数(年度末)	人	9,818	9,755	9,374	9,187	14,136
	意 図	・健康に暮らしてもらう ・安心して暮らしてもらう			成果指標名	特定健康診査受診率(国保加入者)				
がん検診受診率										
市民病院健(検)診受診件数										
国民健康被保険者1人当たり療養諸費(一般+退職)										

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	特定健康診査受診率(国保加入者)	%	43.0	37.3	40.0	36.4	44	46.0
	指標設定の考え方と把握方法	生活習慣病の予防と病状改善のために実施する特定健康診査に着目し、その受診率を指標とし、実績値は健康推進課で、計画値は保険年金課で把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	がん検診受診率	%	20.4	17.7	17.8	17.5	17.4	17.4
	指標設定の考え方と把握方法	市民の健康寿命の延伸を図る手段として有効であるがん健診に着目し、その受診率を指標とし、健康推進課で把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	市民病院健(検)診受診件数	人	4,875	4,775	4,923	4,793	4,923	5,000
	指標設定の考え方と把握方法	疾病の早期発見、早期治療のために、市民病院で受ける健(検)診の件数を指標とし、管理課で把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	国民健康被保険者1人当たり療養諸費(一般+退職)	千円	258	260	274	259	274	307
	指標設定の考え方と把握方法	国民健康保険の医療費負担に着目し、被保険者(市民)の病気治療のため保険者(市)が負担した1人当たりの療養諸費を指標とし、保険年金課で把握						

3. 施策の評価

項目		評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	健康寿命の延伸を図るため、日ごろから健康づくりに努め、「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、進んで健(検)診を受診し、病気予防・療養・治療に専念する。				
	行政	健康寿命の延伸を図るため、健康増進の機会、早期発見のため健(検)診の普及を図る。また、安心して病気予防・療養・治療に専念してもらうため医療費負担をする。				
達成度評価	近隣との比較	特定健康診査受診率のH29年度実績(法定値)は37.3%で、近隣10市との比較(高い順)では、9位の西尾市40.6%に次いで10位。1位は長久手市53.0%。 がん健診受診率のH29年度実績は17.8%で、近隣10市との比較(高い順)では、9位の豊田市19.9%に次いで10位。1位は高浜市43.8%。 市民病院健(検)診受診件数は、近隣の市立病院(岡崎、碧南、西尾)で実施している病院がないため、比較ができない。 国保被保険者1人当たり療養諸費のH29年度実績は260千円で、近隣10市との比較(低い順)では、9位の豊田市249千円に次いで10位。1位は安城市226千円。				
	過去3年間の実績との比較	特定健康診査受診率のH30実績(速報値)は36.4%。[法定値 H27: 34.4%、H28: 37.6%、H29: 37.3%] がん健診受診率のH30年度実績は17.5%で、大腸がん検診無料クーポン廃止によりH28年度以降は減少。[H27: 20.2%、H28: 17.8%、H29: 17.7%] 市民病院健(検)診受診件数のH30実績は4,793件で、H27からの3年平均より0.1%減少。[H27: 4,794件、H28: 4,827件、H29: 4,775件] 国保被保険者1人当たりの療養諸費のH30実績は259千円。[H27: 238千円、H28: 260千円、H29: 260千円]				
現状と課題		・ 特定健診受診率と がん検診受診率は、愛知県内全市(38市)の平均(特定健診38.8%、がん健診26.4%)と比べ低く、疾病の早期発見に繋がる健(検)診の受診率向上対策が必要である。また、国保被保険者の療養諸費は、増加傾向にあり、医療費の抑制が課題である。 ・ 市民病院の健(検)診に必要な医療機器が更新時期を迎え、経費の増大が懸念される。				
課題を踏まえた今後の取組の方向性		(今後の取組の方向性) 病気の早期発見・早期治療・生活習慣病予防のため、健診事業の周知を図るとともに、集団健診の実施や健診期間の延長を行う。また、健(検)診を受診することで獲得するポイントにより、県内の協力店でサービスが受けられる「健康マイレージ事業」を実施し、受診率の向上を図る。				
市民意識	重要度	高い	満足度	高い	平成30年度市民アンケート調査による	